

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議

だい 1 2 期 だい 1 年 だい 3 回 だい 2 日
(第 1 2 期 第 1 年 第 3 回 第 2 日)

ぎじろく
議事録

1 日時 2018 (平成 30) 年 1 月 25 日 (日) 午後 2 時 ~ 5 時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 20 人

アニー タリシケシユ、ウエー ヴィタ プラディーバ ラクマル、ウラコワ
マハバット、ウル エリック ファーリイ、大越 ミュートン トミオ、金
海花、許 成龍、蔣 香梅、シロコラデュク イリヤ、鈴木 ミリアム、
スタント イルワン、崔 敬心、チョ チョ カイン、バテネフ アルチョム、
ポール ウツザル クマル、前田 喜与美、ラサル ジュリエン、劉 愛玲、
ロペス ハイロ、ロマンダ デイビッド

(2) 事務局

あさぬま たんとう かけちやう いちのせ たんとう かけちやう とよた たんとう かけちやう なかの たんとう かけちやう
浅沼 担当課長、一ノ瀬 担当課長、豊田 担当係長、中野 担当係長、
くさかべ しょくいん たかはし せんもんちやうさいん
日下部 職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 4 人

5 会議次第 (公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

スタント委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2018年度第3回第2日を開催する。今日はアリ委員、児玉委員、ゴタメ委員、寺田委員、トラン委員、ポソ委員から欠席の連絡が届いている。まず、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局豊田担当係長が説明)

スタント委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし) それでは議事に入りたい。まずは2018年度の年次報告書についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局日下部職員が資料2に基づき説明)

スタント委員長「事務局から説明があったように進めたいと思うが、それでよいか。(異議なし) では、次の議事に移る。次は、オープン会議についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし) では、次に今日の実行委員会です。意見について報告をお願いします。」

前田副委員長「実行委員会では、テーマの提示については参加者が話したいことは当日にならなければわからないということもあり、25個すべてを提示するのがよいのではないかという意見が多かった。グループの数については、基本的には6グループで、当日の状況によっては減らすという話をした。グループのわけ方については、資料のとおりで、代表者については事務局に案をつくってもらい、それを正副委員長が確認するという方法でよいのではないかとなった。最後に、当日の役割分担についてだが、司会進行について実行委員会のなかでは蔣さんとマハバットさん[ウラコワ部会長]が立候補してくれた。」

スタント委員長「では、順番に審議して決めていきたい。まず、テーマについては案のとおり、とくに文章化はしないということではどうか。(異議なし) 次に、テーマの提示の仕方についてはどうか。」

ウラコワ部会長「25個すべてのテーマを提示するのがよいと思う。あとは、具体的にどうやって提示するのかを工夫する必要があると思う。」

スタント委員長「まずは、私たちが選んだ審議テーマ6個を紹介して、あとはそれ

以外のテーマを紹介するということになるだろう。」

ウエーヴィタ委員「幅広く意見を聞きたいのであれば、6個のテーマをとくに強調する必要がないのではないか。」

スタント委員長「ほかに意見はあるか。(なし)それでは、決をとる。候補は資料にあるとおりだ。①-A(8人)①-B(3人)②(1人)③(8人)①-Aと③が8人で同数になったので、もう一度その2つで決をとる。①-A(11人)過半数になったので、①-A(=紹介するテーマは全部で9個)に決まった。続いて、グループディスカッションについて決めていきたい。グループの数は、案のとおり6つでよいか。賛成の人は手を挙げてください。(19人)次に、グループのわけ方についてだが、案としては国籍・地域と男女のバランスを考えて事務局が案をつくり、それを正副委員長が確認するというこでよいか。(全員賛成)では、グループディスカッションの進め方について、進行係1人と記録係1人を決めるのは、事務局に案を作成してもらうか、それとも代表者が自分たちで決めるかどちらがよいか。」

ウラコワ部会長「記録係は2人の方がよいのではないか。」

スタント委員長「記録係を1人にするか2人にするかは、各グループで相談して決めてもらえばよいと思う。それでよいか。(異議なし)では、係決めについて決をとる。代表者同士で決めるのに賛成の人は手を挙げてください。(13人)過半数なので決定だ。最後に、オープン会議全体の役割分担を決めたい。司会進行だけは必ず決めたいが、残りは時間に余裕があれば決めたい。司会進行については、実行委員会のなかで蔣さんとマハバットさん[ウラコワ委員]の立候補があったが、ほかに立候補したい人はいるか。(なし)では、この2人で賛成の人は手を挙げてください。(19人)では、次に受付に立候補したい人は手を挙げてください。(チョ委員、崔委員、アニータ委員、ポール委員、鈴木委員)次に、交流パーティーに立候補したい人は手を挙げてください。(金委員、蔣委員、ウル委員)オープン会議については以上だ。移動と休憩を挟んで部会審議をお願いする。」

【情報・広報部会】

崔部会長「それでは、部会を始めたい。まずは、前回会議の確認について事務局から

説明をお願いする。」

(事務局日下部職員が資料1に基づき説明)

崔部会長「何か質問はあるか。(なし)では、部会の名称を決めていきたい。

事務局から説明をお願いする。」

(事務局日下部職員が資料4-1に基づき説明)

崔部会長「何か質問はあるか。(なし)では、意見はあるか。」

ウエーヴィタ委員「『情報部会』はどうか。」

鈴木委員「『広報』も入れたい。」

ウエーヴィタ委員「もう1つ、『言葉と情報部会』はどうか。」

ロベス委員「『情報伝達』はどうか。」

崔部会長「ほかにあるか。(なし)では、『情報』『広報』『言葉』『伝達』の組み合わせのなかから決めたい。『情報』(0人)『広報』(0人)『言葉と情報』(3人)『伝達』(0人)『情報・伝達』(2人)『言葉・情報』(0人)『情報・広報』(5人)『広報・伝達』(1人)。では、部会の名称は『情報・広報部会』に決まった。次に、今日の審議テーマだが、今日は情報・相談についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局日下部職員が資料4-2に基づき説明)

崔部会長「何か質問はあるか。」

ウエーヴィタ委員「そもそも、なぜ情報をわかりやすくしなければいけないのか、という目的を確認する必要があると思う。個人的には、情報が平等に伝わらないことで不利益になることがあってはいけないと思っている。」

鈴木委員「私も相談窓口で働いているのだが、役所の人でも知らない情報というのがある。たとえば、川崎区には通訳用のタブレット端末があるのだが、そのことを知らない職員もいる。職員が知らなければ外国人にも伝わらない。資料を見ると結構、大きな駅の近くに行政サービスコーナーがある。この行政サービスコーナーに多言語資料を置いてはどうか。」

劉委員「目的を考えたとときに、市として困っていることがあれば、それを教えてほしい。たとえば、ふと思い出したのは、区役所に行ったときに税金か保険料を納めましょうというポスターのようなものがあり、そこにあった名前が外国人の名前だった。こういったことは市として困っているのではないか。」

ウエーヴィタ委員「1、2週間前にテレビで見たのだが、社会保険料を納めていない

人たちをみると外国人の割合が高く、インターネットでは『なぜ払うのかわからない』『そもそも払えない』といったことを答えていた。」

シロコラデュク委員「私も学生のときに払ってなくて、引っ越しのときにまとめて払ったことがある。情報を届ける方法として、メルマガなどデジタル化しなければいけないのではないかとおもうている。」

ウエーヴィタ委員「最低限必要な情報がきちんと届くようにしなければいけないとおもう。」

ロペス委員「事務局に質問だが、制度に関する情報はどこかに集まっているのか。」

事務局日下部職員「『外国人の皆さんへ』や外国人市民向けの多言語資料を集めた『多言語広報資料一覧』などがある。」

前田副委員長「情報はすでにたくさんあるとおもう。それで、外国人の方はわからないことがあれば、まずは同国人や友達などの横のコミュニティに聞くということが多いとおもう。理想は自分で調べて区役所に行くことだが、区役所に行くのが不安という人も多い気がする。情報を区役所で渡すことも大事だが、もう少し気軽に相談できるような場所があるとよい。まだ、考えがまとまっていないが、ウエルカムセットの改善もよいかもしれない。」

ウエーヴィタ委員「言葉の壁で情報が遮断されてしまうのはよくない。でも、何でもできるわけではないので、情報に優先順位をつけて選ばなければならない。大事なものは、健康にかかわる病院、税金、教育などだとおもう。」

シロコラデュク委員「個人的な意見だが、やはり相談する環境が整っていないとおもう。情報が届いていないと、相談にもつながらないとおもう。」

劉委員「私の経験では、2017年に宮前区に引っ越しをしたときにウエルカムセットを窓口で渡されなかった。それと、あとから確認してもらえたが、母子手帳も最初は中国語があるという案内がなかった。」

崔部会長「私もこの会議に参加して外国人のための情報がすでにたくさんあることを知った。ホームページの翻訳も割と精度が高かった。周りの人に伝えてみたが、みんな情報があることを知らなかったし、自分で調べようともしていないかった。このテーマでの目的ということで、先ほど情報が平等に伝わるようにという意見があったが、みなさんはどうか。（異議なし）」

前田副委員長「ウエルカムセットの改善についてだが、常に冊子や資料を持ち歩いているわけではないので、いつでも見られるようにQRコードなどをつけてはどうか。」

崔部会長「そろそろ時間なので、次回のことについて審議したい。まずは事務局から説明をお願いします。」

(事務局日下部職員が説明)

崔部会長「では、まずは次回の審議テーマについて決めたい。テーマとしては、『企業や日本語学校等を通じた市の取組の広報・周知』と『外国人観光客向けの防災情報』の2つがある。次回の審議テーマだが、『企業や日本語学校等を通じた市の取組の広報・周知』ではどうか。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)では、続いて資料のリクエストをお願いします。」

鈴木委員「川崎市で配布している多言語情報の一覧が見たい。」

崔部会長「防災の情報も欲しい。川崎市から日本語学校などに情報提供しているものがあれば、それも知りたい。ほかにあるか。(なし)では、時間なのでこれで本日の部会を終わりにする。」

【教育・就労部会】

ウラコワ部会長「それでは、部会Bをはじめます。今日は、まずは前回会議の内容確認をして、次に部会の名称を話し合い、そのあとに今日のテーマである学校での子どもへの日本語支援について審議し、最後に次回の審議テーマを決めて資料のリクエストをする。まずは、前回会議の内容確認を事務局からお願いします。」

事務局高橋専門調査員「前回会議の内容は全体会でも報告した。前回はまだ具体的な審議に入ったわけではないので、今回は省略でもよいか。(異議なし)」

ウラコワ部会長「それでは、部会の名称について何か意見はあるか。資料には、案として『教育・就労部会』を載せている。あとは、『教育・就労支援部会』にしてもよいかもしれない。」

バテネフ委員「総合的な支援という意味で『異文化人材育成支援部会』はどうか。ただ、長いかもしれない。」

事務局高橋専門調査員「長さは大事だ。報告書や資料などでも毎回フルネームで載せるし、市長報告などの際もフルネームだ。」

ウラコワ部会長「今、3つ案が出ているがほかにあるか。(なし)では、この3つで決をとる。『教育・就労』(8人)、過半数なので決定だ。」

金委員「あえて支援とつかなくても、当然、支援するという意味は含まれていると思

うので、よいのではないか。」

ウラコワ部会長「では、部会の名称は『教育・就労部会』に決まった。次に、今日の審議テーマである学校での子どもへの日本語支援についてだ。まずは事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料5-2、5-3、5-4に基づき説明)

ウラコワ部会長「何か質問はあるか。」

許委員「確認だが、特別支援学校の合計が3となっていて、区ごとの数が載っていないのはなぜか。」

事務局高橋専門調査員「小学校と中学校で所在地が変わるので、合計で3というカウントにした。」

スタント委員長「国際教室の設置校は、やはり川崎区に集中しているのか。」

事務局高橋専門調査員「今、手元にリストがないが、たしかに川崎区に多いが、川崎区以外にもある。」

蔣委員「私は実際に日本語指導等協力者をしているが、総合教育センターはすごくがんばっていて、できるだけ多くの子どもに派遣できるようにしている。」

ウラコワ部会長「どういう人たちが派遣されているのか。」

蔣委員「協力者には日本人も外国人もいるが、子どもの母語ができることと外国人の場合には日本語能力試験のN1に合格していること、あとは指導主事の先生との面接がある。」

スタント委員長「そうすると、課題としてはこれからますます支援が必要な子どもが増えることが予想されるなかで、限られた予算でどこまで支援できるのかということだろう。支援できる子どもの数もそうだし、内容についても生活言語だけではなく、学習言語までというのは現状からするとかなり厳しい。子どもたちをまとめて支援するようなことも考えたらどうか。」

事務局高橋専門調査員「工夫するためのアイデアを出すときには、現場の実態をきちんとふまえることが大事だ。現場のことを知らずに、アイデアだけ出されても現場が困ってしまう。」

金委員「具体的な支援はどうやっているのか。」

蔣委員「方法としては、授業から外れて行う『取り出し』と授業の中で手伝う『入り込み』の2つがある。1対1が基本だ。」

ウラコワ部会長「プログラムはどうなっているか。」

アニータ委員「教育委員会の人と面談をして、どのくらい支援が必要かを先生が判断

する。」

チョ委員「今日の机上配布の資料で寺子屋のチラシがあったが、こういう情報をもつと広めて知ってもらえばよいのではないか。」

蔣委員「寺子屋は学校単位で、ある学校とない学校がある。」

ウラコワ部会長「支援をしているNPOの情報でもよい。」

(事務局豊田担当係長が寺子屋制度について補足説明)

アニータ委員「川崎市は1対1でやっているが、ある程度の人数をまとめれば効率よくできるのではないか。」

事務局高橋専門調査員「たとえば、中国語の子ども、ポルトガル語の子ども、英語の子どもでは、一緒にまとめて指導することは難しい。現実的ではない。」

アニータ委員「まったく日本語がわからない子どもでは無理だが、ある程度支援を受けた子どもであればできるのではないか。」

蔣委員「それはもう実施している。それよりは、国際教室の設置基準を見直す方が重要だと思う。協力者の派遣は、子どもの国籍に関係なく派遣されるが、国際教室の設置基準は日本語指導が必要な外国籍の子どもが5人以上というかたちで限定されている。このハードルが高いので、外国籍に限定しなければ国際教室はもっと設置されるはずだ。」

(事務局高橋専門調査員が国際教室の設置基準について補足説明)

ウラコワ部会長「そろそろ予定していた時間なので、次回の審議テーマを決めたい。

私たちの部会のテーマとしては、『多文化・国際理解教育』と『就労支援』の2つが残っているがどうか。」

スタント委員長「教育関係のテーマを続けた方がよいと思う。」

ウラコワ部会長「では、次回の審議テーマとして多文化・国際理解教育に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成) それでは、審議したいことや資料のリクエストをお願いする。私は他都市の状況や取組が知りたい。」

アニータ委員「私もほかの市の取組が知りたい。たとえば、横浜市はどうか。」

許委員「比較をすることはよいと思うが、川崎市と同じようなレベルの自治体でないと比較の意味がない。横浜市はよいと思う。」

スタント委員長「何か教育方針のようなものがあるか知りたい。」

チョ委員「私は、子どもが小学校に通っていたときに文化の紹介をしたことがある。」

ウラコワ部会長「ほかにあるか。(とくになし) それでは、これで教育・就労

部会を終わりにする。」

【全体会】

スタント委員長「それでは、全体会を再開する。まずは部会報告を部会Bからお願いする。」

ウラコワ部会長「まず、部会の名称についてだが『教育・就労部会』に決まった。今日の審議テーマは、学校での子どもへの日本語支援で、わかったことは川崎市には日本語支援の制度があること、近年、外国籍の子どもと日本語支援が必要な子どもが急増していて支援が追いついていないことなどだ。限られた予算のなかで、どうやって対応していくのかということが課題だ。1対1ではなくグループで指導したらどうかという意見や学校外での支援も有効に活用するといった意見があった。これから実態を踏まえて、深めていきたいと思う。次回の審議テーマは、多文化・国際理解教育についてだ。」

スタント委員長「何か質問や意見はあるか。（なし）それでは、続いて部会Aの報告をお願いします。」

崔部会長「まず、部会の名称についてだが『情報・広報部会』に決まった。今日の審議テーマは、情報と相談についてだ。まず、情報については論点を整理して考える必要があるということを確認した。情報がわかりにくいのか、足りないのか、届いていないのか、その場合、なぜわかりにくいのか、どのような情報が足りないのか、なぜ情報にアクセスできていないのかなどだ。

そのうえで、私たちが議論する目的としては、情報がわからないことで、不平等や不利益が起きないようにということが大事だということになった。具体的なアイデアや意見としては、情報のデジタル化、区役所の職員のあいだで知識・情報量にバラつきがある、情報が届くことで相談にもつながる、区役所に行くのは壁が高いのもう少しフランクに相談ができる場所が欲しい、QRコードを活用するなどウェルカムセットの内容を改善・充実させるなどがあった。次回以降、さらに掘り上げていきたい。次回は、企業や日本語学校等を通じた市の取組の広報・周知についてだ。」

スタント委員長「質問や意見はあるか。」

ウラコワ部会長「相談しやすい環境づくりということだが、具体的な話はしたか。」

崔部会長「まだ具体的には話し合っていない。区役所に行くのはハードルが高く感じ

るという程度だ。」

スタント委員長「ほかにあるか。（ とくになし ）では、続いて実行委員会報告だ。

市民祭り実行委員会からお願いする。」

許委員「11月4日に行われた市民祭りの感想と反省を整理した。よかった点としては、①国旗のあるネームカード、②世界のお茶の試飲と衣装体験、③パレードの3つだ。とくにお茶の試飲と衣装体験はとても人気があったし、パレードも楽しかった。次に、悪かったわけではないが来年、改善したい点として①食べ物の提供、②お茶についての詳しい説明、③テントの場所、④資料コーナーのレイアウト、⑤民族衣装を着てパレードに参加することなどがあがった。」

スタント委員長「次に、ニューズレター編集委員会から報告をお願いする。」

ロペス委員「今回はニューズレターNo. 65について話をした。川崎市民祭りについては崔さん、オープン会議についてはミュートンさん〔大越委員〕、カナダと日本の中学校の違いについてデイビッドさん〔ロマンダ委員〕が担当することになった。」

スタント委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

- ・オープン会議について
- ・市のPR動画への出演協力依頼について

ウェーヴィタ委員「私事で申し訳ないが、12月に諸事情で川崎市から引っ越すことになったので、今日で最後の参加になる。これからはみなさんを応援していく立場になるが、たくさんの方たちと知り合えたことは私の財産だと思っている。ぜひ、よい提言ができるようにしてください。」

スタント委員長「ラクマルさん〔ウェーヴィタ委員〕、今までの活動ありがとうございました。ほかになければ今日の日程は終了だ。（ なし ）次回は、12月16日、日曜日、午後2時から中原市民館でオープン会議を開催する。これで、2018年度第3回第2日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」